

直方市決算

令和3年度

要点紹介

令和3年度の市の決算が次の表のとおり議会で承認され、確定しました。
その内容について、ご紹介します。



直方市の
台所事情を
チェック
してみよう

問い合わせ

財政課
(TEL 25-2231)

CHECK

1

まずは基本から

令和3年度も実質収支は
黒字となりました

令和3年度は、一般会計(※1)の歳入総額が約316億5千万円、歳出総額が約295億4千万円、収入から支出を差し引いた収支(形式収支)は約21億1千万円の黒字です。これから令和4年度に繰り越して行うことになった事業に要する経費を除いた収支(実質収支)では、約20億の黒字決算です。

単年度で見た場合の収支(実質単年度収支)では、約9億9千万円の黒字でした。

令和2年度に引き続き、令和3年度も基金の取り崩しによる財源調整を行うことなく決算することができま

した。また、令和2年度と比較して、収支は改善しています。

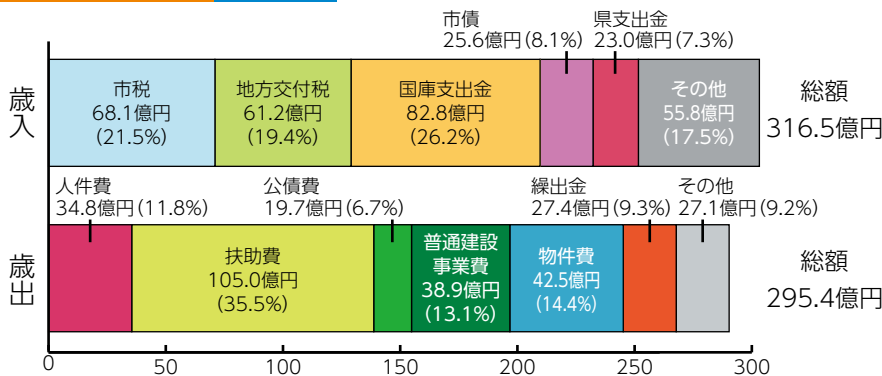
歳入の中身を見ると、地方交付税、国県支出金、市債といった国等に依存するものが約6割を占め、市税等の自主的に確保できる財源の割合は、全体の4割弱にとどまっています。

これは、直方市の財政運営が依然として、国の地方財政計画等によって大きく左右される状況にあるといえますが、これらの依存財源のうち主なものである地方交付税については増加傾向となっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していた市税等については、法人の業績が回復したことにより、若干増額となりました。

歳出では、補助費等、普通建設事業費、災害復旧事業費が前年度より減少していますが、人件費、物件費、

一般会計決算

グラフ①

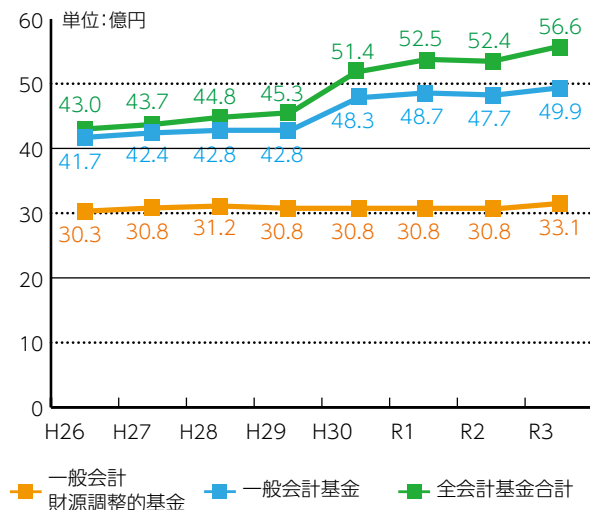


特別会計

表①

●国民健康保険特別会計	●後期高齢者医療特別会計
歳入……………61億2,276万円	歳入……………10億281万円
歳出……………58億8,731万円	歳出……………9億7,805万円
●同和地区住宅資金貸付事業特別会計	●上頓野産業団地造成事業特別会計
歳入……………2,214万円	歳入……………1,778万円
歳出……………1,848万円	歳出……………1,778万円
●介護保険特別会計(保険事業勘定)	
歳入……………66億8,313万円	
歳出……………64億3,774万円	
●介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	
歳入……………4,894万円	
歳出……………4,726万円	

基金残高の変化 グラフ②



※1 市町村などが通常行っている業務にかかる経費と収入のまゝ。

維持補修費、扶助費、公債費、繰出金が増加しています。
公債費については、市営住宅の建て替えや、し尿処理場建設等、大型事業のための借入金償還開始に伴い、今後も増加していくことが見込まれています。

なお、特別会計の決算は表①のようになります。

CHECK 2

貯金・借金共に増加
気になる貯金(基金)と借金(市債)の残高は

令和3年度末時点での基金(貯金)と市債(借金)の残高の推移は左図グラフ②、グラフ③のようになります。

基金残高は約56億6千万円、このうち一般会計分は約49億9千万円、一般会計分の中でも使いみちが特定されていない財源の調整に使える基金は約33億1千万円です。

前年度に比べて、市の基金残高は

約4億2千万円増加しました。

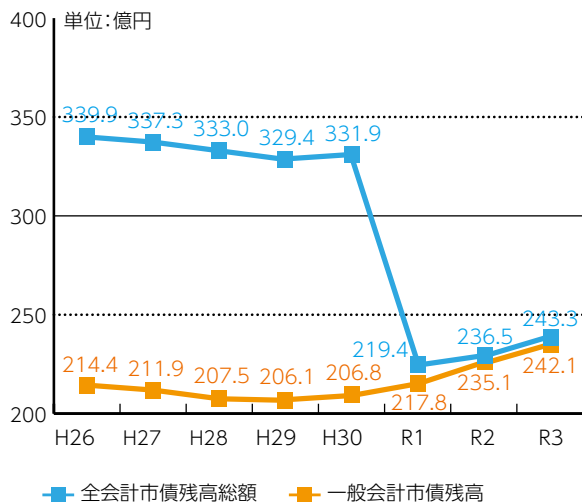
次に市の借金である市債残高は、一般会計とその他特別会計も含めた総額で約243億3千万円となり、前年度に比べて約6億8千万円の増となっています。

市債残高の内訳は、一般会計で約242億1千万円(前年度より約7億円の増)、特別会計では、上頓野産業団地造成事業で約1億2千万円(前年度より約2千万円の減)となっています。

一般会計の残高が大幅に増えているのは、主に市営住宅の建て替えや、し尿処理場建設等の大型事業のための借入金によるものです。



市債残高の変化 グラフ③



各種財政指標の推移 グラフ④

